

イベント

楽しい思い出ができました！

表彰式

第15回 さわやか!一日陶芸教室

楽しい思い出が形になりました!



最優秀賞 徳永 剛さんファミリー



コカ・コーラ賞 水野 勇一さんファミリー



くま経プレス賞 石本 美由起さんファミリー



恵泉賞 谷口 愛海さんファミリー



さわやかで賞 三善 勲さんファミリー



頑張ったで賞 奥田 千賀子さんファミリー



くつろぎ賞 山口 裕矢さんファミリー



リフレッシュ賞 和田 邦泰さんファミリー



ファンタジー賞 下村 保さんファミリー



アットホーム賞 真嶋 伊吹さんファミリー



ユニークで賞 作田 宗隆さんファミリー



賞状とコカ・コーラグッズを持って皆さんで記念撮影

今年で15回目を迎えた「さわやか!一日陶芸教室」。6月12日、会場となったフードパル熊本に80組のご家族が参加され、思い出が詰まった作品を作っていただきました。その中から優秀作品を選出、7月30日に表彰式を開催しました。

出来上がった作品はどれも甲乙つけがたく、選考会も難航しましたが、入賞された11家族には賞状や副賞のコカ・コーラグッズなどが贈られました。

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございました。また、次回お会いできるのを楽しみにしています。



南九州コカ・コーラボトリング 代表取締役社長執行役員 伊藤 健二

私ども南九州コカ・コーラは、地域の皆様のさわやかで健康的な暮らしと、より豊かな社会の実現に向けて地域発展に貢献したいという思いから、青少年の健全育成・地域の活性化・環境保全などをテーマに活動を行っています。この「さわやか!一日陶芸教室」では、ご家族みんなの協力により思い出の詰まった作品を作りあげること、その絆を一層深めていただけたら幸いです。今後も地域の皆様のお役に立てる企業を目指してまいります。

作品は、くまもと経済本社にて保管しています。【担当】熊谷・宮田(☎096-359-7777)

※場所は市電慶徳駅前電停近く、唐人町通り沿いです。お越しになる前に一度ご連絡下さい。また、近日中に作品の発送を予定しています。

主催/くま経プレス(株)地域経済センター 特別協賛/南九州コカ・コーラボトリング(株) 後援/熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、RKK、TKU、KKT、KAB、NHK熊本放送局、FMK、FM791

このイベントは、全国のコカ・コーラで開催している「Live Positively -世界をプラスにまわそう-」プロジェクトの対象事業として認定されています。詳しくは <http://www.cocacola.co.jp/positively/positively.html> をご覧ください

子どもが苦しんでいる時、壁にぶつかっている時、自分のことのように胸が痛くなったり、悲しくなったりという経験はありませんか。親として「何とかしなくては」と思うことがよくあります。

今回は、そんな時の親の行動の例として、3つのパターンを挙げてみましょう。まず一つ目は、我が子に立ちはだかる「壁」。それを、親がパン!と壊して「さあ、障害はなくなつたよ。安心して進みなさい」というタイプ。また、目の前の壁を隠して「あなたの前には何の障害も無いのよ。大丈夫、進みなさい」というタイプ。

この場合、子どもの壁を親自身が解決してしまっているため、親が「してあげた感」で満足してしまう場合が少なくありません。自転車に乗れるようになるとか、受験をする、就職をする、友人関係を円滑にする、結婚する、などといったことは、自分の力で解決しなければ本人の成長にはならないのです。

二つ目は、「壁があるでしょう。あの壁は、この金槌を使って壊さないさ!」「急がば回れ。壊すよりも回るのよ!」これを使うのよ。それからこうすればいいからね」と、我が子にあれこれ指図するタイプ。この場合も、自分の経験などからの助言なので、やはり、親は「してあげた感」を抱き、満足してしま



親業訓練インストラクター 津川 育子

親の行動パターン、貴方はどのタイプ?

【今月のテーマ】

二人の人間を生み、養い、社会の中で自立した一人になるまで育てる。これが親の役割です。親は子どもの成長に大きな責任があります。そのために必要なものがコミュニケーション能力です。ここでは親と子のコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

親子のコミュニケーション講座



（筆者プロフィール）親業訓練インストラクター。大学卒業後、二子学館、近代経営研究所などの勤務を経て、平成10年10月人財育成サポートを設立。22年2月に法人化。親業の勉強会、講座を随時開講。熊本県民カレッジ主催講座サテライト教室子育て応援講座などの講師も勤めている。県内各地での講演も多数。美里町教育委員。子どもは3人。著書として「愛の小箱」(夫の闘病と家族模様)がある。

【問い合わせ】 ☎096-342-9733 ikuko.t@eagle.ocn.ne.jp

また、子どもを信じているからこそ見守れるのですから、親子の関係から、人対人の関係として、付き合うと言ふことにもなるのではないかと思います。

子どもを信じるからこそ、出来ること。これこそが、「見守る」ということではないでしょうか。私は、三人の子どもの親として、三つ目のタイプでありたい。いつもそう思っています。けれど、子どもを思う親としては、苦しむ我が子の姿を見て、ついつい一つ目、二つ目のタイプになってしまうがちです。

もう事が多いのです。確かにヒントを与えたり、サポートしたりすることは親の務めでしょう。しかし、それが言い方によっては強制的な指図になってしまうことを忘れてはいけません。指図に従うだけならば、やはり一つ目のタイプと同様に本人の成長にはつながらないのです。そして、三つ目。「この子は、きっとこの壁を乗り越えられる」「この壁はこの子が乗り越えられる壁だ」と受け止めるタイプ。この場合は、子どもが自分で乗り越え、成長していきると信じて、静かに見守っておくのです。そして、ただ見守るだけではなく、いざれ傷つくことを覚悟して、その時に心に貼ってあげる絆創膏を準備しておくことが大切だと思います。



くまもとを元気にする FACE 田邊 由子さん(54) 花もめん 社長 (熊本市池上町)

当社が運営する有料老人ホーム・認知症対応型デイサービスで、介護保険外の「お泊まりサービス」を開始しました。介護保険適用のデイサービスと合わせて利用することも可能ですので、気軽にご相談ください。



くまもとを元気にする FACE 松本 和也さん(42) 桜野園 代表 (水俣市薄原)

自然栽培の無農薬にこだわってお茶を作り、私で4代目になります。全国茶生産青年団の一員としてお茶を全国に広げる活動をしており、当社のお茶も水俣くまもと農協ブランド「みなまた茶」の認定を目指し取り組んでいます。



くまもとを元気にする FACE 松岡 弘子さん(46) manu+manu 代表 (八代市横手町)

7月に店舗を移転しました。内装をヨーロツパのアパートをイメージして仕上げましたよ。作品づくりが趣味で、海外のヘアカタログ雑誌「PASSION」などに掲載されました。これまで培ったサービスを存分に提供し続けたいですね。



くまもとを元気にする FACE 小西 浄さん(28) 博多麺屋宗運 店主 (熊本市下通1丁目)

銀座通りにラーメン店をオープンしました。スープはもちろん、玉子、チャーシューなどすべて手作りにこだわり、一杯一杯丁寧に作っています。カウンターのみ店舗ですが、ラーメン好きの常連さんが行列をなすようなお店にしたいですね。